

武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル

TEL 03-3211-4831 Fax 03-3211-6004



武陽月報は、大豆と共に情報をお届けするニュースレターです。

自粛生活のなかで感じられたこと

自粛生活が長引くにつれて変化したことの一つに、食事の楽しみが増加したことがあります。これまでを振り返りますと、日本の食文化は欧米化から始まり、外食化・簡便即食・個食化などの変化を遂げてきましたが、今回は『STAY HOME』が叫ばれ、食事は一日で最大の楽しみに格上げされたように思われます。

私事ですが、いつもなら休日にはいない我が家の娘がバナナケーキを作ったかと思えば、肉じゃがを作ったり、から揚げを作ってみたりと、食べる側からつくる側へと変身し、家内はテイクアウトのできるお店探しに余念がなく、食に係る家族の時間が大いに増加しました。

新型コロナウイルスは「オンライン飲み会」のように、これまでの食生活や消費動向を変化させた一方で、納豆ブームや家で食事をする楽しさを再認識させられたのも事実であります。願わくは、家での食事とともに以前のように豆腐やがんもの消費も増加してくれたらと思う今日この頃です。

令和元年産国産大豆の第6回入札結果

日本特産農産物協会より令和元年産第6回入札結果が発表されました。

平均落札価格(60kg当たり)は、普通大豆 10,675円(前回比△16円)、特定加工用大豆 9,986円(前回比△537円)、平均 10,538円(前回比△107円)となった。普通大豆は前回と同水準ながら、特定加工用は大幅下落となり、新穀までの調達について目途が立ち始めた動きとみられる。

また、今回の上場数量は 5,055トン(前回比△759トン)、落札率も 88.6%(前回 91.1%)と徐々に需要の低下を示す結果となりました。今後は新型コロナウイルスの影響による一層の需要低下が懸念されます。

主要銘柄(北海道、東北を抽出)の平均落札価格は下記の通りです。次回入札は6月10日(水)の予定です。

【主な銘柄の平均落札価格】

単位：円

産地	粒別	品種銘柄	今回	前回(R2/4月)	増減
北海道	大粒	とよまさり	10,374	10,560	△186
青森	大粒	おおすず	10,106	9,976	+130
宮城	大粒	ミヤギシロメ	9,712	9,876	△164
山形	大粒	里のほほえみ	11,245	11,210	+35
山形	大粒	エンレイ	11,203	11,360	△157

2017/19年 家計調査 品目別ランキング ~ 総務省

単位：円

順位	しょう油		みそ		豆腐		油揚げ・がんもどき		納豆	
	全国	1,759	全国	2,232	全国	5,316	全国	2,961	全国	4,140
1	山形市	2,978	長野市	3,170	盛岡市	7,087	福井市	5,515	福島市	6,601
2	松江市	2,557	熊本市	2,801	那覇市	6,984	京都市	4,696	盛岡市	6,189
3	鹿児島市	2,520	新潟市	2,739	徳島市	6,508	金沢市	4,464	水戸市	6,171
4	広島市	2,195	秋田市	2,685	静岡市	6,039	奈良市	4,119	山形市	5,723
5	奈良市	2,138	鹿児島市	2,636	鳥取市	6,032	大津市	4,059	前橋市	5,648
6	大分市	2,055	宮崎市	2,610	福島市	5,923	堺市	3,825	長野市	5,567
7	大津市	2,042	盛岡市	2,588	佐賀市	5,877	富山市	3,800	仙台市	5,507
8	長野市	2,024	山形市	2,557	仙台市	5,835	新潟市	3,778	宇都宮市	5,409
9	長崎市	2,023	佐賀市	2,545	松江市	5,834	大阪市	3,378	秋田市	5,355
10	山口市	2,008	浜松市	2,506	高知市	5,808	浜松市	3,344	青森市	5,084

家計調査は、品目別に都道府県庁所在都市等を対象に、2017～2019年の1世帯当たりの平均年間支出額で順位が算出されております。

東北6県で見ますと、「納豆」「豆腐」「みそ」が上位にランクインしたものの、「しょうゆ」は山形市のみ、「油揚げ」は関西勢に押され、残念ながら上位でのランクインはありませんでした。

都市別のランクインもさることながら、大豆が持つ「たんぱく質」は三大栄養素(タンパク質、糖質、脂質)のひとつで、ためしてガッテンでも取り上げられましたが、臓器や筋肉・血液・皮フなどを生成するのに必要なものであります。また、最近では女性ホルモン(エストロゲン)の減少をサポートすることでも、「大豆イソフラボン」が脚光を浴びるなどしており、更に全国で大豆製品の需要が伸びることを期待したいものです。

2020/21年度 世界・主要国の大豆に関する需給見通し～米国農務省

2020年5月12日、世界の大豆需給の見込みが発表されました。

世界の生産量は増加しており、米国での収穫面積の増加やブラジル・アルゼンチンでの増産などから、史上最高の生産量となる見通しにあります。

一方、世界の消費量は中国におけるアフリカ豚コレラの影響で一時減少した飼料需要が回復し、消費量も生産量の増加を上回る増加となったことから、在庫量は前年に比して減少する見通しとなりました。

輸出入量では、中国とEUにおける輸入量が増加する見込みであり、輸入量は中国が5,900万トン、EUが2,100万トンを超える見通しとなっています。

地域別・主要国の予測

単位:百万トン

	生産量			消費量			輸出(入)量		
	2009年	2021年	増減	2009年	2021年	増減	2009年	2021年	増減
世界合計	245.5	323.5	78.0	240.7	324.0	83.3	-	-	-
北米	91.3	117.0	25.7	50.8	76.3	25.5	40.6	40.7	0.1
中南米	122.5	167.7	45.2	81.7	109.6	27.9	39.9	58.4	18.5
オセアニア	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
アジア	26.6	32.6	6.0	83.4	105.1	21.7	-60.8	-72.5	-11.7
中東	0.3	0.3	0.0	3.6	3.5	-0.1	3.3	-3.1	-6.4
欧州	3.5	4.4	0.9	18.1	26.1	8.0	-14.5	-21.8	-7.3
アフリカ	1.3	1.5	0.2	3.1	3.3	0.2	-1.8	-1.8	0.0
主要国									
米国	87.6	112.9	25.3	49.0	74.1	25.1	38.6	38.8	0.2
中国	15.2	18.8	3.6	60.4	78.1	17.7	-49.0	-59.2	-10.2
インド	9.5	11.3	1.8	9.3	11.1	1.8	0.0	0.2	0.2
EU	0.9	1.0	0.1	14.4	22.3	7.9	-13.5	-21.3	-7.8
アルゼンチン	45.3	63.4	18.1	36.3	37.5	1.2	8.6	26.1	17.5
ブラジル	67.1	90.9	23.8	36.9	60.9	24.0	29.7	30.1	0.4

シカゴ商品取引所における5月の大豆先物相場

2020年1月以降、南米での豊作見通しに加え、米中通商協議の第一次合意で中国側の大豆の追加関税撤廃が盛り込まれなかったことから、1月下旬に8.7ドル/ㄷに下落。2月には中国が米国産大豆の追加関税の引き下げや輸入業者向けの免税措置を公表したことで9ドル/ㄷ近辺まで上昇後、南米での生産量の上方修正等で8ドル/ㄷ台となり、5月最終週では8.50ドル/ㄷ前後とほぼ前年並みとなっております。

今後は在庫不足が懸念される中国においては、米中貿易摩擦が再燃する様相もあり、価格動向は不透明な状況にあります。

□ 本社	03-3211-4831	□ 飼料部宮城営業所	0229-25-8680
□ 東北第一営業所	0229-54-1151	□ 飼料部福島営業所	024-593-5121
□ 山形出張所	0234-21-9144	□ 大豆選別・挽割加工工場(宮城県美里町)	
□ 東北第二営業所	0243-24-5818	□ 大豆保管第1・第2定温倉庫(宮城県大崎市)	

* ご用命はお近くの営業所または本社営業部まで、お願いします。